

令和4年度 日之影町立日之影中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4:期待以上、 3:期待どおり、 2:やや期待を下回る、 1:改善が必要
- 「評価者」…「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
学力向上	学力向上の基盤となる、子どもたちの「学びに向かう力」や「進路実現への意欲」を向上させるような教育を推進する。	総合的な学習の時間において、地域の方々との協働による探究学習を工夫して行ったり、将来の生き方を地域の社会人の方々と対話する場を設けたりする等、キャリア教育の充実を目指して取り組んだ。生徒からの評価は最も評価の高い項目のひとつで、3.7であった。保護者からの評価は、昨年度に比べ上昇が見られた。今後も工夫した取り組みが必要である。	3	3	3
	生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導・支援に努め、基礎的な学力の定着を図る。	個に応じた指導については、複数の教科において、二人体制の授業を行ったり、自宅待機の生徒へオンライン授業を行ったりする等、組織的に取り組んだ。保護者からの評価ともに昨年度に比べ、上昇しているが、本評価の中で最も低い評価のひとつであることから、次年度も改善を図っていきたい。	4	3	3
	生徒の思考力や表現力を高めるための指導方法の工夫・改善に努める。	全職員によるICTを活用した生徒の思考力や表現力を高める指導に取り組んできた。みやざき学習状況調査での活用に関する結果では、県平均を上回る教科もあり、一定の成果が出たと考える。保護者からの評価でも昨年度よりも上昇が見られた。今後も指導方法の工夫・改善に取り組んでいきたい。	4	3	3
	読解力向上を目指した読書活動やICTを効果的に活用した学習を推進する。	読書活動については外部人材を活用した定期的な読み聞かせ等、読書活動に取り組める環境づくりに取り組んだ。ICTの活用については、校内研究のテーマとし、職員研修や研究授業等により、全職員で効果的な学習に取り組むことを目指した。次年度も継続して、取り組んでいく必要がある。	4	3	4
生徒指導・心の教育	道徳教育や人権教育の充実に努め、ふるさとを大切に、他人への思いやりにあふれた心を育む。	全校道徳の授業に取り組む等、道徳教育や人権教育に取り組んだ。総合的な学習の時間において地域と連携したふるさとに関する学習に取り組んだ結果、生徒からの評価が3.6と、高評価であった。保護者からの評価も上昇しており、取組の成果が表れたものとする。次年度も継続して取組みたい。	4	3	4
	生徒一人一人に寄り添った支援や声かけ、教育相談などに努めながら、生徒の自尊感情を高める。	毎週の生徒理解の時間における職員での情報共有、学年やチームによる支援に必要な生徒への対応、定期的なアンケートの実施とそれを活用した教育相談の実施等、組織的に取り組んだ。生徒からの評価は3.5であった。保護者からの高評価を得られるよう、今後も取り組みを強化していきたい。	4	3	4
	各行事や学習活動における生徒の活躍の場や活動の支援充実に、生徒が何事にも前向きに取り組む困難を乗り越えようとする態度を育む。	文化祭や体育大会をはじめ、生徒会活動、総合的な学習の時間におけるひのかげ近未来会議や立志式における発表の場等、できる限り生徒の活躍の場を設定し、生徒が主体的な活動となるよう取り組んできた。生徒の評価は3.7で最も高い評価であった。今後もさらなる充実を目指して取り組んでいきたい。	4	3	4
体力向上・安全指導	授業や体育的行事、部活動などの充実に努め、子どもたちの心身の健康や体力を向上させる。	体育大会や持久走駅伝大会、水泳の授業、外部講師による武道の授業、保体の授業で定期的に行う縄跳びや体力テストに向けた活動等、心身の健康や体力向上を目指し取り組んだ。部活動では、県大会に多数出場することができた。体力テストの結果では、A判定を下回る生徒も見られた。次年度は結果が向上するよう、工夫して取り組みたい。	3	3	3
	校内指導の充実の他、保健関係の通信や連絡によって家庭との連携を強め、健康安全や食育への意識を高める。	保護者へ参加を呼びかけた性教育や食育(弁当の日)等の外部講師による授業を行った。定期的な通信の発行や保健室前掲示板を活用した効果的な掲示物による生徒への啓発等、校内指導の充実も図った。生徒評価は3.7と高評価であった。次年度も充実した取り組みを目指したい。	4	3	3
家庭・地域との連携	地域との協働によるキャリア教育を充実させ、子どもたちに郷土愛や将来における自己実現への意欲を高める。	地域と協働したひのかげ近未来会議、ひなた場、職場学習等、充実したキャリア教育となるよう地域と協働し、取り組むことができた。生徒からの評価は3.6と高評価であった。保護者からも最も高い評価をいただいた項目でもあった。次年度も充実した取り組みとなるよう、計画的に取り組んでいきたい。	4	3	4
	学校だよりやホームページ等を活用した学校教育の情報発信に努め、学校の教育に対する地域やPTAの理解を促進する。	生徒用タブレットへの各学年の様子の発信や、学校HPの更新、学校だよりの発行等、デジタルと紙媒体を活用し、各家庭や地域に定期的に情報を発信した。生徒からの評価は3.5であり、保護者からも最も高い評価に次ぐものであり、一定の評価をいただいたものとする。次年度はより評価をいただけるよう情報発信に努めていきたい。	4	3	3